

戦 評

大会名 第40回全日本6人制バレーボールクラブカップ男女選手県大会
(40thデサントジャパンクラブカップ)岩手県予選会

期日:令和3年6月12日(土)
会場:花泉体育館

男子決勝戦

MASTERPIECE 0 { 21—25 } 2 藤 沢 ク ラ ブ
 { 24—26 }

試合時間 0 時間 47 分

主 審 小野寺 勝

副 審 浅利 達也

戦 評

昨年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大による全国大会中止を受け、2年ぶりの開催となったこの大会。前回優勝の岡崎建設Owlsが全国大会優勝によるJVA推薦ですでに全国大会出場が決定し今回予選会免除の中、8大会ぶりの優勝を狙うMASTERPIECEと悲願の初優勝を狙う藤沢クラブの対戦となった決勝戦。

第1セット、序盤からお互いが一進一退の攻防が続く。21-21から藤沢クラブ18番菅原のサイドからの2連続攻撃でリズムに乗ると2番遠藤のサービスエースでセットポイントを握り、そのまま第1セットを先取した。

第2セットを取りたいMASTERPIECEであるが、リズムが噛み合わず、逆に相手にリードを許してしまう。中盤、MASTERPIECE 9番加藤の2連続ブロックや、7番花坂の攻撃で巻き返しを図る。そして、ピンチサーバ20番竹田のサーブから23-23の同点に追いつく。

しかし、攻撃力に勝る藤沢クラブが、高さを活かしたプレーからポイントを重ね、粘るMASTERPIECEを振り切って初の栄冠を手にした。

戦評者 鈴木 利宏

岩手県クラブバレーボール連盟